

松本市立博物館開館記念 第2弾特別展

至極の大衆文化 浮世絵 ー酒井コレクションー

会期:令和6年1月13日(土)~3月3日(日)【前期】令和6年1月13日(土)~2月4日(日)【後期】2月10日(土)~3月3日(日)

会場:松本市立博物館2階特別展示室 主催:松本市立博物館 特別協力:日本浮世絵博物館

【後期展示資料一覧】

No.	絵師名	作品名	制作年代	判型	所蔵	備考
<b>第1章 浮世絵の名品</b>						
1	歌川国芳	桜下衝立に倚る美人図	弘化期(1844~47)	絹本着色	日本浮世絵博物館	
2	東川堂里風	遊女立姿図	正徳~享保期(1711~35)頃	紙本着色	日本浮世絵博物館	
3	宮川一笑	二美人図	享保期(1716~35)頃	紙本着色	日本浮世絵博物館	
4	溪斎英泉	芙蓉と美人図	弘化(1844~47)初期頃	絹本着色	日本浮世絵博物館	
5	窪俊満	鯉と海老図	文化期(1804~17)	絹本着色	日本浮世絵博物館	
6	魚屋北溪	鯉と福寿草図	天保期(1830~43)	絹本着色	日本浮世絵博物館	
7	東洲斎写楽	三代目大谷鬼次の江戸兵衛	寛政6年(1794)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
8	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	安政4年(1857)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第2章 浮世絵が大衆文化になったきっかけは？</b>						
1	奥村政信	七夕のと渡る舟	享保元年(1716)頃		日本浮世絵博物館	パネル
2	無款(杉村治兵衛)	玉取り	貞享~元禄(1684~1703)頃		日本浮世絵博物館	パネル
3	鳥居清倍	枕もんど	正徳5~享保2年(1715~17)頃		日本浮世絵博物館	パネル
4	石川豊信	髪すき 初代佐野川市松 初代中村条太郎	寛延3年(1750)頃		日本浮世絵博物館	パネル
5	歌川国安	金草鞋	文政13年(1830)		松本市時計博物館	
6	歌川国貞	修紫田舎源氏	天保4年(1833)		松本市時計博物館	
<b>第3章 江戸の風俗</b>						
1	歌川国貞(三代豊国)	土農工商之内 工	安政5年(1858)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
2	歌川国貞(三代豊国)	十二月之内 師走 餅つき	安政元年(1854)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
3	溪斎英泉	今世美女競 水茶屋	文政8年(1825)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
4	歌川国虎	江戸両国橋夕涼大花火之図	文政期(1818~29)頃	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
5	歌川国芳	山海愛度図会 生して置たい 陸奥信夫摺	嘉永5年(1852)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第4章 ファッション</b>						
1	溪斎英泉	契情五軒人 大文字楼本津枝	天保期(1830~43)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
2	溪斎英泉	えと名物鹿子美人あわせ(三味線箱)	天保期(1830~43)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	歌川国貞	美人傾城いろはたんか 又 若那屋内若那	文政(1818~29)後期頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
4	歌川国貞	美人傾城いろは短歌 三 角海老屋内大町	文政(1818~29)後期頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
5	歌川国安	傾城見立八景 和八景 田子之浦 丸海老屋内江門	文政期(1818~29)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
6	歌川国安	三美人 尾張屋内えにし	文政(1818~29)前期頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第5章 さまざまな生き物</b>						
1	歌川国芳	五十三駅 岡崎	弘化4年(1847)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
2	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	安政4年(1857)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	月岡芳年	猫鼠合戦	安政6年(1859)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
4	歌川国芳	江州坂本入江の浪士白狐にたぶらかさるゝ図	嘉永2年(1849)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
5	歌川国芳	道外狐へん化のけいこ	天保13年(1842)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
6	歌川国芳	大漁鯨のにぎわひ	嘉永4年(1851)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
7	月岡芳年	和漢百物語 白藤源太	慶応元年(1865)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
8	歌川国芳	十二支見立職人づくし	天保14~弘化元年(1843~44)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
9	歌川国芳	子供遊八行の内 智	天保13年(1842)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第6章 浮世絵で遊ぶ</b>						
1	歌川広重	即興図両つくし きりことふろう つる	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
2	歌川広重	即興かけぼし尽し みづく まつだけ	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
3	歌川広重	即興図尽し こんろにきびせう かんちろり	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
4	歌川国直	玩具絵	文政期(1818~29)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
5	歌川国郷	子供手遊かつら付	安政2年(1855)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
6	葛飾北斎	しん板くみあけとうろふゆやしんみせのづ	文化4~9年(1807~12)頃	大判錦絵5枚続	日本浮世絵博物館	
7	歌川国芳	人をばかにした人だ	弘化4年(1847)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
8	歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	弘化4年(1847)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
9	歌川芳藤	小猫をあつめ大猫とする	弘化4~嘉永5年(1847~52)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	

10	歌川国芳	猫の当字 なまづ	天保13年(1842)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
第7章 浮世絵の衰退から芸術へ						
1		渡邊庄三郎写真	昭和16年(1941)		株式会社 渡邊木版美術画舗	パネル
2		笠松紫浪写真	昭和16年(1941)		株式会社 渡邊木版美術画舗	パネル
3	笠松紫浪	信州松本城	昭和9年(1934)	木版多色摺	松本市立博物館	
4	笠松紫浪	信州白骨温泉	昭和10年(1935年)	木版多色摺	松本市立博物館	
コラム 浮世絵に描かれた日用品						
1	溪斎英泉	今様縁日詣 一ツ目弁財天	天保期(1830~44)		日本浮世絵博物館	パネル
2	歌川国貞	当世美人合 かこみ	文政末~天保初期(1827~32)頃		日本浮世絵博物館	パネル
3	溪斎英泉	曲中八契 扇屋内鳩照	文政8年(1825)頃		日本浮世絵博物館	パネル
4	溪斎英泉	芙蓉と美人図	弘化(1844~47)初期頃		日本浮世絵博物館	パネル
5		行燈(丸行燈)	不明		松本市立博物館	
6		笄	江戸時代		松本市立博物館	
7		簪	江戸時代		松本市立博物館	
8		櫛	不明		松本市立博物館	
9		鏡立	不明		松本市立博物館	
10		柄鏡	江戸時代		松本市立博物館	
11		煙管	不明		松本市立博物館	
12		懐紙	不明		松本市立博物館	
13		三徳	不明		松本市立博物館	
コラム 松本屈指の豪商 酒井家						
1		信州筑摩郡松本本町浄土宗門改帳	文政11年(1828)		松本市立博物館	
2		光慈入部宿割控	享保11年(1726)		松本市立博物館	
コラム 浮世絵の至極の技術						
1	歌川国貞(三代豊国)	今様見立士農工商 職人	安政4年(1857)		日本浮世絵博物館	パネル
2	歌川国貞(三代豊国)	今様見立士農工商 商人	安政4年(1857)		日本浮世絵博物館	パネル
3		小刀	不明		日本浮世絵博物館	
4		鑿	現代		松本市立博物館	
5		木槌	現代		松本市立博物館	
6		版木	不明		日本浮世絵博物館	
7		刷毛	不明		日本浮世絵博物館	
8		馬連	不明		日本浮世絵博物館	
コラム すごい技術の浮世絵木版画						
1	歌川国芳	三川図絵 豎川	安政3年(1856)	団扇絵判錦絵	日本浮世絵博物館	
2	溪斎英泉	浮世風俗美女競 一泓秋水浸芙蓉	文政6~7年(1823~24)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	岳亭	見立七福神 弁天	文政8~10年(1825~27)頃	色紙判摺物	日本浮世絵博物館	